



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話 (028)
636-8000 (中学直通)
636-8585 (高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

日光山の自然と歴史

文星芸術大学附属中学・高等学校校長 上野憲示



日光の自然は美しい。男体山、女峰山、太郎山と三山が連なり、その背後に奥白根の山々が見え隠れする。中禅寺湖スカイラインの半月山駐車場やいろは坂の途中の明智平からの眺望はまさに絶景であり、さぞかし日光修験の行者の苦行の疲れを癒したことであろう。

見る者を圧倒する豪快な華嚴滝、翠玉色の湖面を誇る中禅寺湖。特に、釣鐘状の雄姿が特徴的である男体山は、かつて仏典上の霊山である「補陀落山（ふだらくさん）」になぞられ、「日光」の語源（「二荒」の音から「日光」と転化）となった経緯を領かせる。

日光は今でこそ、家康公をお祀りした江戸初期創建（僧天海の手腕による）の東照宮が看板である。だが、悠久の時間を刻む大自然の気は、古よりの神仏混淆の渾然たる山岳宗教のメッカ、勝道上人以来の修験の行者たちの慣れ親しんだ崇高な仙境としてあったことを伝えている。静寂な水面の表情を見せる中禅寺湖も、一時は南方観音浄土に見立てた観音応現の霊場であったという。海洋世界の実践行、「補陀洛渡海（ふだらくとかい）」が行われた

ともいう。

教養上の親和性から密教系仏教や道教の内に組み込まれてゆき、天台宗の一大拠点となった。平安後期には山岳修験の教団も成立し、以来、国家安寧やものけ退散の加持祈祷（かじきとう）の修法はもちろん、強飯会の儀式に垣間見るような、強靱な精神力や秘術的な呪力・法力を大自然の懐の中で磨く、籠り修業や回峰行が行われるようになった。阿弥陀世界への極楽浄土を願う浄土信仰、さらに熊野の三山信仰（三所権現）の導入、宇都宮氏・宇都宮社との乖離、秀吉による山領の没収等々、複雑な歴史の展開が続き、今に至る。

毎年八月一日の男体山の

文星芸大附now!
は、平成17年4月
に「文星芸術大学
附属中学校」の開
校に合わせて発
刊されました。

入学式

登拝祭は、われわれ凡俗も登山が許される。にわか山伏気分で山頂を目指すのであるが、生半可でないその登山行の途中や山頂で見下る世界は、まさに彼岸の浄土をも感じさせるものであろう。

四月五日（木）、本校体育館にて平成十九年度入学式が中学・高等学校ともに挙行された。中学十五名、高等学校三百十八名の新入生は、緊張の面持ちで式に臨



- p1 学校長より
- p2 新年度に当たって
- p3 部活動紹介
- p4 新任教員紹介(高校)
- p5 新年度を迎えて・生徒会
- p6 新任教員紹介(中学)
- p7 宿泊体験学習他
- p8 HRバス旅行より



んでいた。
上野憲示校長は式辞で、「将来の自分の道筋をよく考え、その実現のために三敬精神とライオン主義をもって一日一日を過ごしていくように」と述べ、その言葉に込めるように新入生代表の長谷川潤（中学校・山口夏生（高等学校）が新入生宣誓を行った。

中学校行事予定

▽六月

- 1日(金) 衣替え
- 7日(木) 耳鼻科検診
- 8日(金) 第97回創立記念日
- 15日(金) 社会科見学(鳥山和紙の里)
- 16日(土) 日本漢字能力検定
- 23日(土) 球技大会
- 26日(火) ボランティア実践(中央公園)
- 26日(火) 特別講演(文星芸大教授 細田先生)

▽七月

- 3日(火) 5日(木) 期末考査
- 7日(土) 中学統一テスト
- 14日(土) 学校説明会(塾対象)
- 20日(金) 第一学期終業式

高校行事予定

▽六月

- 1日(金) 衣替え
- 8日(金) 第97回創立記念日
- 15日(金) 新入生歓迎校内体育大会
- 9日(土) 第一回実用英語検定
- 9日(土) 総合学力マーク模試(3年 英進)
- 12日(火) 13日(水) 総合学力マーク模試(3年 普通)
- 14日(木) 16日(土) 保護者会
- 15日(金) 日本漢字能力検定
- 26日(火) 心電図検査(2年)

▽七月

- 2日(月) 5日(木) 期末考査
- 12日(木) 内科検診(2年)
- 12日(木) 13日(金) 総合学力記述模試(3年 普通)
- 13日(金) 14日(土) 総合学力記述模試(3年 英進)
- 14日(土) 総合学力テスト(1・2年)
- 20日(金) 第一学期終業式
- 21日(土) 大学進学説明会(1・2年)

文星芸術大学附属高等学校

新年度のスタートに当たって



副校長 古橋 晴夫

今年度、八年ぶりに本校に戻らせていただきました。宇都宮文星女子高、文星芸術大学・宇都宮文星短期大学において、進路指導を中心に教育現場に携わり、多くの経験をさせていただきました。生徒一人一人の教育に大切なもの、また生徒を社会へ送り出すのに、教育現場の姿はどうあるべきかを自分なりに勉強してまいりました。

学校法人宇都宮学園は、現在文星芸術大学及び大学院修士課程・博士課程、宇都宮文星短期大学、文星芸術大学附属高等学校・中学校、そして宇都宮文星女子高等学校という大きな組織で構成されております。その中で、大学と短期大学は、系列高校と高大連携事業を始

めて七年目を迎え、本校生の入学に際しては特別のメリットが施されております。

更に、大学・短大の先生方が、直接本校生に専門的分野において指導を担当して下さるなど、その絆は今後より一層強くなっていくと思われまふ。一方、中学・高校の連携においては、大学進学というはつきりとした指標を掲げ、長期展望を見据えたカリキュラムを基に実践的な指導体制が取られております。結果として、国公立大学への合格者数も着実に伸び、前年度は十五名を突破、進学希望者は普通科・総合ビジネス科にまで広がり、増加の一途をたどっております。

また、英進科を除く七コースでは、在学中に各種ライセンスを取得することや、救命救急・介護施設での研修、ツインリンク茂木での体験学習、スキー実習など、総合的学習を意欲的に取り入れ、体験を通じて社会に出る生徒への実践的指導を展開しております。このように、各生徒の多岐に渡る希望に順応するために設置された

コース制指導は、今後、他校には見られない本校の大きな特徴となつて評価されていくと確信しております。

大学全入時代の幕開けと、団塊の世代の要因により起こる雇用問題は、教育現場にも予想のつかない動きとなって迫ってきております。各家庭、生徒と学校の希望を一体化させ、互いに正しい情報を共有することがますます必要となつてきます。まず、生徒一人一人が学校を楽しい場所として、そこから自己の夢の実現に向けてスタートをすることが大切です。本校は全職員一丸となつて、生徒の皆さんを支援してまいります。一緒に努力精進をしていきましょう。

学ぶ心



教頭 塩田 克己

新緑の5月になり、新学年のクラスにも慣れ、真剣に学校生活に取り組める時期に入りました。さて、私

たちは日常生活の中でどれだけ「学ぶ心」を意識しているでしょうか。本校には、『三敬精神』という社会で生きていくための心構えが教育理念として存在しています。その中の「他人を敬へ」の教えに「学ぶ心」を見出すことができるのではないのでしょうか。

作家吉川英治は、作品の中で「我以外、皆我師（われいがい、みなわがし）」（宮本武蔵）という言葉を残しています。これは、人でも、物でも、自分の周囲にあるものは全て自分に何かを教えてくれる先生であるという意味です。私たちは、自らを取り巻く多くの人たちが自然から、たくさんこのことを学び、成長しています。この言葉は、自分には無い良い面を吸収せよという「他人を敬へ」の校是と同じとも受け取れます。それには、自分が謙虚になつて学ぼうとする姿勢が大切です。「学ぶ心」を意識するということは、自分を成長させ、進化させてくれるものだと思ひます。諸君も、この「学ぶ心」を日々意識して、目標に挑戦してくれることを期待します。

平成十九年度各学年担当者

第三学年

総務	鈴木 幸夫
主任	岩泉 徳栄
副主任	馬場 義浩
生徒指導	渡辺 誠
一組	雪野 賢
二組	竹内 昭夫
三組	梶川 崇
四組	長谷川 聡
五組	馬場 義浩
副担任	坂巻 敦志
六組	中田 裕市
七組	畠田 和明
副担任	石渡佑一郎
八組	阿部 克美
九組	関塚 貴光
十組	高木 肇
副担任	渡辺 誠
十一組	長谷川 聡
十二組	南木 和喜
十三組	笹沼 芳孝
学年付	田島 基行
総務	吉澤 利治
主任	千代野 仁
副主任	伊沢 修一
生徒指導	伊藤 均
一組	染野 幸弘
二組	福田 和弘
三組	高橋 伸夫
四組	石井 隆詞
副担任	伊藤 均

第一学年

五組	白石 一徳
六組	根本 哲也
七組	佐藤 輝明
八組	川村 大介
九組	小林 秀晃
十組	伊沢 修一
副主任	守谷 淳子
十一組	伊沢 修一
副主任	守谷 淳子
十二組	田村 伸也
十三組	長谷川裕二
学年付	星野 英雄
副担任	新井 隆義
総務	富永 一巳
主任	山口 和正
副主任	小菅 光春
生徒指導	直井 秀幸
一組	佐藤 史徳
二組	安部佳奈子
三組	菊地 幸子
四組	中根 雅之
副担任	飯島 芳美
五組	船木 勝
六組	野口 秀敏
七組	荒川 喜昭
八組	富田 健作
九組	直井 秀幸
副主任	荒井 千穂
十組	加藤 総明
十一組	尾田 大輔
十二組	尾田 大輔
十三組	小菅 光春
副担任	石塚 玲子
学年付	西牟田浩章

輝け!! 文星健児

部活動紹介

四月から五月にかけて行われた第48回栃木県高等学校総合体育大会(県総体)の主な結果をご報告します。

卓球部

団体・シングルス優勝 ダブルス関東出場

五月三日から五日に鹿沼市体育館で行われた県総体にて、本校卓球部が素晴らしい成績をおさめた。

団体戦決勝リーグでは、佐野・真岡両高を下し最終戦に臨んだ。作新学院との全勝同士の対決は一進一退の激戦となるものの、見事優勝を果たした。

また、シングルスでは、ベスト4を本校選手が独占、ダブルスでは準優勝と四位と、圧倒的な勢いで関東大会出場を決めた。なお、本大会は六月一日から三日に東京都駒澤体育館にて行われる。

《団体決勝リーグ最終戦》

本校3
竹原 3-1
浅野 2-3
澤島 0-3
鈴木 3-0
2 作新

澤島正輝 (英進科三年)
竹原誠志 (普通科三年)
浅野俊樹 (普通科三年)
鈴木 誠 (普通科二年)

《ダブルス》

準優勝 澤島・竹原 組
4 位 太田英明 (普通科三年)・鈴木組

《シングルス》

優勝 竹原 誠志
準優勝 鈴木 誠
3 位 澤島 正輝
ベスト8 太田 英明
浅野 俊樹

陸上競技部

弓田選手大会新V

五月十二、十三日に行われた県総体で、弓田倫也選手(普通科三年)と、古渡亮太選手(普通科二年)が見事な成績をおさめた。

四月十四日に県総合運動公園陸上競技場で行われた第53回県春季大会でも大活躍した両選手。弓田選手は今大会ハンマー投げで自身の自己ベストに迫る62.75の大会新記録をマーク。砲丸投げでも15.58の記録を出し、二種目を制覇した。また、古渡亮太選手も砲丸投げに出場。先輩に負けじと気迫の投擲を見せ、春季大会と同様3位入賞を果たした。

剣道部

大野選手個人優勝

本校剣道部は、五月十三日に県北体育館で行われた県総体に出場、個人戦で大野偉生選手(普通科三年)が優勝を果たした。

決勝戦、対するは佐野日大高の野原選手。大野選手の放った気迫の面打ちが野原選手をとらえ、鮮やかな二本勝ちで優勝を飾った。大野選手は六月二、三日に千葉県ポルトアリーナで行われる関東大会に出場したい。

バスケットボール部

県総体準優勝!

五月十三日に行われた県総体で、本校バスケットボール部が決勝リーグに進出した。黒磯・宇都宮両校に快勝し臨んだ宇都宮工業高校との最終戦。一月の県新人大会決勝でも対戦し惜敗した相手だけに、今回こそ勝ちを得たい本校だったが、惜しくも及ばず準優勝となった。同部は六月二、三日に埼玉県で行われる関東大会へ出場する。

《決勝リーグ最終戦》

本校 65
19 17 14 15
11 11 11 11
33 22 30 22
107 宇工

柔道部

団体3位入賞! 関東へ

五月十二、十三日に県武道館で行われた県総体に本校柔道部が出場し、団体戦で3位入賞を果たした。

準決勝で國學院栃木に惜敗して臨んだ3位決定戦。本校柔道部は作新学院と対戦した。互いの執念がぶつかり合う激戦となったが、先鋒の白井啓祐選手(英進科三年)、次鋒の渡辺雅也選手(普通科三年)による一本勝ちなどの活躍で作新学院を下した。

なお同部は六月二、三日に茨城県で行われる関東大会への出場権を獲得した。

テニス部

ダブルス・団体ベスト8

本校テニス部は、四月下旬から県総合運動公園テニスコートで行われた県総体に出場した。ダブルスでは森下裕貴選手(普通科二年)・八本佑介選手(普通科二年)組が準々決勝へ進出しベスト8入り、団体も準々決勝で作新学院と対戦、一歩及ばずベスト8となった。

サッカー部

優勝校に肉薄ベスト8

四月下旬から県内各会場で行われた県総体において、本校サッカー部が、8強入りを果たした。

黒磯高校と今市高校に快勝し、迎えた準々決勝の相手は一月の新人大会で対戦した矢板中央。前回の無念を晴らすべく戦ったが、2対3と悔しい敗戦となった(矢板中央は今大会優勝を果たした)。

惜しくも関東大会出場は逃したものの、強豪校に肉薄した本校サッカー部の健闘を讃えたい。

実用英語検定合格者

(二〇〇七年 三月二日)

一級

神長 駿宏

小林 義明

富山 潤

羽山 達也

金子 光顕

竹村 慈倫

中嶋 志知

望月 悠平

井上 知行

金広 尚平

近藤 圭祐

高山 亮輔

松原 宰栄

伴内 優貴

井上 善平

久保 匡史

杉江 舜

田中信之祐

高瀬 裕章

馬場 俊幸

おめでとうございます。

HRバス旅行

那須ハイランドパーク

四月二十七日(金)にHRバス旅行が行われた。生徒たちは桜花爛漫の那須へと出かけ、那須ハイランドパークで楽しい一日を過ごした。当日は肌寒い風が吹いていたものの晴天に恵まれ、生徒たちはジェットコースターやレゴスタジアムなどのアトラクションで思い思いに楽しんだ。

新入生は入学して一ヶ月、二、三年生も新クラスになって一ヶ月の時期であり、このバス旅行が新しいクラスメイトと打ち解けるよい機会となったようだ。

(8ページに写真)



新任職員紹介（高等学校）

今年度より奉職された先生方を紹介します



野口 豊
(英語)

今年の三月末に県立高校を定年で退職しました。教壇に立つのは久しぶりですが、教材研究に多くの時間をさくことができ、英語を教える喜びを少しずつ感じ

ている毎日です。今までの経験をいかす一方、新しい「感覚」を取り入れながら日々新鮮な気持ちで過ごしたいと思います。グローバル化の世界の中で、英語はもはや習得が当たり前になりましたが、生徒の皆さんのさらなる学力向上と進路実現に向けて、微力ながら、努力して参りたいと思います。



坂巻 敦志
(国語)

邂逅(かいこう)という言葉があります。「めぐり会い」という意味ですが、私自身、これまで人とのつなが

りを大切にしてきたことで、自分の成長があるということを実感し、周囲の人々にも感謝しています。皆さんとの出会いもこうした邂逅の一つです。この出会いを大切に、よい刺激を与えていきたいと思っています。よろしく願います。



高木 肇
(英語)

オーラルコミュニケーションを中心に授業に出ている。学んだ表現を積極的に、ニック(ALT)に話しかける生徒の姿を見て思

うことがある。「みんな英語ができるようになりたいと思っているんだ」と。私もその一人だ。英語だけでなく、多くのことを知りたい。人間は常に学び続けなければならない。

BC
AD



田村 伸也
(商業)

私は教員となる以前、七年間、民間の企業で営業職として勤務しておりました。まだまだ教師としては経験不足ではありますが、今ま

で社会で経験してきた全てのことを伝えていきたいと考えております。また、伝統のある学校ですから、常に「誠実」さを心掛けて頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



田島 基行
(数学)

いつの時代でも「数学が嫌い」と感じる人は多いものです。私も少なからずそう感じたこともありましたが、それでも私が数学の教師に

なったのは、「数学が楽しい」と感じるきっかけがあったからです。私が数学の授業中に皆さんにあげたいことは、「数が苦」から「数楽」になるきっかけを与えることです。まだまだ不慣れな所もありますが、今後とも宜しくお願いします。



石渡 佑一郎
(社会)

本学の教員になって以来、主に三年生とふれあう機会が多いのですが、皆さんの進路に対する意識の高さと勉強や部活に対するひたむ

きさに感心し、自身の高校時代を顧みる日々を送っています。長いようで短い三年間で、精一杯努力してください。私も微力ながら協力したいと思っています。よろしくお願い致します。



西牟田 浩章
(理科)

本校に勤務して二ヶ月になります。本校は運動部に所属している生徒が多いので、廊下を歩いていると接

拶が飛び交い、とても気持ちが良いです。「善いことをすれば褒め、悪いことをすれば叱る」の方針のもとに指導を行い、皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



森岡 義博
(総合学習)

四月に自動車整備の教育指導者として、文星芸大附属高等学校に就職し、早二ヶ月が過ぎました。まだまだ本格的な自動車整備の授業は行われていませんが、

この文星を卒業する時には将来、日本や世界中で、自動車産業の仕事に就いて活動したいと思う学生をたくさん育てたいと考えています。経験を生かした授業を学生に分かりやすく指導していくことを考えています。宜しくお願いします。



河野 直樹
(英語)

早いもので、教師になって2ヶ月が過ぎました。日々勉強し、周りの先生方に助けられ、毎日を過ごしております。みなさんと、

共に学んで、いい授業を行い、何事も元氣よく取り組んでいきたいと思っています。まだ至らないところばかりですが、本校の職員として努力して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

文星芸術大学附属中学校

自分を信じて



副校長 上野 敬子

附属中学校も開校3年目を迎え、四月五日の入学式には、「元気いっぱい」の一年生十五名が入学してきました。しぐさにあどけなさや残りますが、常に大きな声で挨拶をし、授業や清掃に黙々と励む姿を見ていると、これらの学校生活で多くのことを学び、社会に貢献する立派な人物に成長してくれるという確信が湧いてきます。

「I believe」という言葉を知っていますか？
この言葉は、女性ポップスシンガー絢香（あやか）さんのヒット曲のタイトルとして有名です。私もこの曲が大好きで、ただ聞き口ずさむだけでなく、さまざまな場面、詩の内容にもある「I believe」を実践しています。

とは、「いかなる困難を迎えようとも、自分を信じて行動すれば、道は必ず開かれる」という意味です。
皆さんは、今までの人生を振り返って見てどうですか？ 投げ出したくなるほど困難なことはありませんか？ もしそのような体験をしたことがあるのなら、その時はどうやって乗り越えたか。たぶん小学生の時までは、お家の方をはじめ、周囲の方々に助けてもらうことが多かったのではないのでしょうか。しかし現在が中学生となり、大人の仲間入りをしたわけですので、今までのようには周りの人は助けてくれなくなると思います。これからは、自分の力で乗り越えることが多くなるはずです。困難な場面でも、決して逃げ出さずに、自分を信じ、自分の出した目標に真っ直ぐに進んで行きましょう。そこには輝かしい未来がきっと待っているはずです。

これからは「I believe」を胸に、何事にも精一杯チャレンジしましょう。

開学三年目を迎えて



教頭 阿久津 功

本校は、男子のみの募集で開校し、初年度は十三名、二年目は二十三名、三年目は十五名で合計五十一名となりました。おかげさまで、本年度は初めての卒業生を出すことになりました。本校は新基準での併設型中高一貫校としては、県内のトップを切ってスタートしました。

本校の特色として

- ① 中高のカリキュラムを六年間のスパンで考えた先取り学習
- ② 学力向上を目標とした習熟度別授業
- ③ 少人数教育による手厚い指導

- ④ スクールカウンセラーによる心理面でのサポートなどが挙げられます。

我々教職員は、「元気で明るく健康で、生徒にとって楽しい学校づくり」をモットーに、精一杯努力精進しております。

礼節とは



学年主任 山本 誠一

「禮」という字は、豊かさを示すと書いてある。心の豊かさ、すなわち相手を尊敬する心の形に示したものが礼である。」と、ある本に書いてありました。豊かな尊敬の念が心にこもっていなかったら、いくら頭ばかり下げても礼にはならないと思います。

また、言語動作や服装態度にも、常に礼をはなれぬ配慮と実践がなければならぬと思います。今でも、「服装は礼のいろは」と言われていますし、「服装は正しいあなたの紹介状」という戒めもあると聞いております。

日常、明け暮れの生徒の態度として、「きちんとした服装で、全員が挨拶（礼節）できるようにする。」ことを今年度、中学校での生徒の目標の一つとして掲げ、実践して参りたいと思います。

中学校職員一覧

本年度の中学校教職員を紹介いたします。

学校長	上野 憲示
副校長	上野 敬子
教頭	阿久津 功
教務主任	館野 弘行
教務副主任	塚原 保
学年主任	山本 誠一
学年副主任	中山 一郎
一学年	
担任	大豆生田剛志
副担任	大山 郁美
副担任	田中 恵
二学年	
担任	稲澤 雅夫
副担任	松本 悦子
副担任	木村 憲子
三学年	
担任	柵山 英樹
副担任	安達可代子
副担任	荒井 祐也
副担任	大出 史恵
養護教諭	
A L T	
クリストファー・チェイス	
非常勤講師	
(英語)	柏倉 功
(技術)	手塚 初男
(音楽)	長島 啓子
(数学)	齋藤 淳
スクールカウンセラー	佐藤 秀子

今年度より生徒会発足

生徒会長になって

三年一組 横山 昂司
私が生徒会長になって、一番力を入れて取り組んだことは「雄飛祭」です。今年度は、三学年揃って初めての学校祭になるので、ぜひ、盛大で素晴らしいものにしたと思っています。

また、生徒会の下には、
《保健体育》《図書》《生活安全向上》《環境美化》の四つの委員会がありますが、各委員会とも、三年生を中心に積極的に活動しています。協力し合って、楽しい学校生活が送れるように頑張りたいと思います。

生徒会役員

生徒会長 三年横山 昂司
副会長 三年高瀬 寛希
副会長 二年菊地 直人
書記 三年鈴木 浩平
書記 二年岡本源二郎



生徒会役員

各クラス
担任より3年1組 担任
棚山 英樹

『とても素直で礼儀正しい子供たちばかりだな。しつけが行き届いているな。』というのがこのクラスの第一印象です。第一期生十三名もついに三年生です。クラス替えもなくずっと同じ仲間と過ごしているためか、今の生活スタイルに慣れすぎて、実にはのんびりとしていて、ところが多少心配でした。しかし、入学当初から最上級生である彼らは、手本となる頼れる先輩がいないうち、常に自分たちで考えて行動しなければならなかったと思います。そのためか責任感が強く、思いやりのある生徒に育っているように感じます。先日の宿泊体験学習で、クラス全員が後輩の面倒を良く見ている姿からもそのことが感じられました。

まだまだ成長段階にある彼らです。無限の可能性を秘めている彼らには、失敗

を恐れず様々なことにチャレンジして欲しいし、この一年をとくに過ごし、これからの成長を良い形でサポートしていききたいと思っています。

2年1組 担任
稲澤 雅夫

二年生二十三名、とにかく活気に溢れたクラスに仕上がりました。個性豊かな面々が集合しています。時として「はじめ」をうまく忘れ、授業中の集中力に欠ける場面も見られますが、心底は、みんな純粋な優しい気持ちを持った、中学生らしい中学生であると思います。

集団の中で自分の長所を発揮していくことは、ある意味なかなか難しく、勇気や努力が必要なことです。でも、周りのクラスメイトは必ずそれぞれの個性を受け止め、認めてくれるはずなんです。尻込みせずに自分を思いっきり表現して、今以上に活気に溢れたクラスにしてほしいものです。

1年1組 担任
大豆生田 剛志

入学式当日、教室に勢ぞろいした十五名の新入生の顔はそれぞれが本当に明るく輝いていました。教室での挨拶を終え、担任一人、副担任二人を加えた総勢十八名でのスタートを無事切ることができました。

始業式で始まった第一週目の月曜日、生徒たちは、「緊張してクラスメイトとも、なかなか話せないだろうな。」という担任の心配をよそに、クラス内ではあちこちで楽しそうに話している姿が見られました。第三週目には「INDY JAPAN300mile」の観戦。翌週には宿泊体験学習と、多くの行事によってクラスの輪はさらに広がったようです。

最近では、クラス目標を「校訓とライオン主義を心にちかう」と「思いやりのあるたのしいクラス」の二つに決め、クラス一丸となつて進んでいます。

新任職員の一言

今年は、ベテランの先生二人、若手とスクールカウンセラーの計四人の先生をお迎えしました。先生方からの一言です。

中山 一郎
(美術)

よく、「趣味は何ですか。」と聞かれることがあります。そんなとき私は困った顔をして、「たくさんあるのです。」と答えます。本当にたくさんあります。いくつか代表的なものを挙げてみましょう。音楽鑑賞、読書、登山、スキー(クロカンも)、写真、星を観る、野外調理、というようなものですが、他にもたくさんあります。

ただ、人と違うのは、「広く・浅く」なんです。ですから何も大成しないのです。が、何事にも好奇心・関心を持って首をつっこみながら、これが私の趣味なんです。

今年もいろいろなことに挑戦したいと思っています。

柏倉 功
(英語)

中学生の皆さん、こんにちは。今年度から中学生に英語を教えることになりました。一年生は英語が好きになるかどうかの初めての挑戦となる学年で、二年生は実力をつけていく学年。三年生はより専門的な学力をつける学年です。一人でも多く英語に興味を持てるよう指導していくつもりです。英語を学ぶことによって、さらに自分の将来に対して可能性が広がっていくと思います。生きていく中で必ずや英語を勉強して良かったと思う時期が来ます。自分の可能性を信じて意義ある中学生生活を過ごして下さい。

荒井 祐也
(社会)

教師になり二ヶ月が経ちました。毎日が充実しています。一日一日が早く感じられます。私自身が一番言いたいことは「目標を持って」

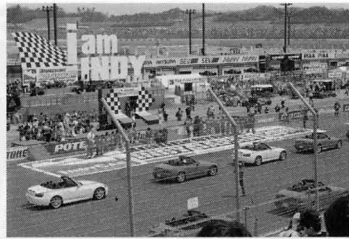
ということです。精一杯取り組むことによって、必ずや自己実現ができるはずです。目標があれば何も始まりません。そのための目標を見つける手助けをできたらと思っています。

佐藤 秀子
(スクールカウンセラー)

「スクールカウンセラー」とはあなたにとって聞きなれた言葉ですか、それとも馴染みのない言葉ですか。スクールカウンセラーは何か教科を教えるのではありません。生徒の皆さんはもちろん、保護者の方々や時には先生方の相談を受けるのが私の仕事です。体が病気になるように、心も病気になるります。自分の本当の気持ちに気づかず我慢していると、だんだん心が苦しくなってきます。やがてエネルギーが無くなって、本来の自分の力が発揮できなくなってしまうんです。一旦そうなると、再び元気になるまでにとて長い時間がかかりますので、ぜひ、お気軽に相談してください。

INDY JAPAN 300 mile ツインリンクもてぎにて

四月二十四日(土)に行われた「INDY JAPAN 300 mile」の観戦に行ってきました。アメリカではF-1よりも人気のあるモータースポーツであり、日本ではこの機会にしか行われない貴重な大会です。そのためか、多くの観客が詰めかけ、生徒にとって盛大な行事の一つになったのではないかと思います。



オープニングセレモニー
世界のナベサダによる生サックス演奏も

生徒のアンケートより
目の前で生のレースを見ることができ、とても感動しました。テレビを通して見るよりも迫力があり、エンジン音が全身に伝わって

きました。各チームの素晴らしいチームワークも見ることができました。

普段は会うことのできない、一流のレーサーを間近で見ることができ、パドックでは、本番で使われるレースカーや整備している様子などを見学することができました。ただ、最後のゴールの瞬間まで観られなかったことと、日本人選手がスタート直後にクラッシュしてリタイヤしてしまったことが残念でした。

また、今回から燃料には、トウモロコシなどの穀物を発酵させて作られる、再生可能な燃料「バイオエタノール」を使用していることを知り、環境問題にも積極的に取り組んでいることも学ぶことができました。

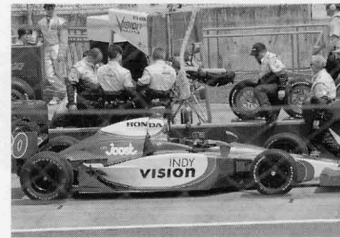
このような体験学習の機会を設けていただき、ありがとうございました。また、来年も大会が開催される時は観に行きたいです。



パドックでは、レースカーや選手を目の前で見ることができました



観戦席はコースのすぐ近くで耳栓なしにはいられませんでした



ピット作業は素晴らしいチームワークを感じました

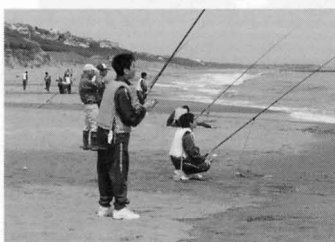
宿泊体験学習

とちぎ海浜自然の家(茨城県銚田市)にて

今年度から始まった新しい試みの一つの『宿泊体験学習』が、四月二十六日から三日間の日程で『栃木県立とちぎ海浜自然の家』にて行われました。

この行事での目標は『学年を超えたコミュニケーションの促進』と、『リーダーシップの育成』でした。

そのため、学年を越えて縦割りや班を編成をし、団体行動において、上級生が下級生の面倒を見るようにし、責任感やリーダーシップを育てる場面を設定しました。現地では体験活動として、海の『投げ釣り』や『いかだ作り』、ワクワドキドキの『ナイトハイク』などを体験しました。



海岸で投げ釣り体験
全員で二匹の釣果でした



自分たちで野菜を切り、協力して焼きそばを作りました

また、この行事のメインイベントとなる『野外調理(バーベキュー)』では、三年生が中心となって一・二年生と協力して作業し、料理の味もさることながら、後片付けが非常に手際よく進みました。

夜のフリースタイルでは、それぞれのロッジで学年を越えて交流を深め、今まで以上に親しくなりました。様々なことを体験し、慣れない環境で生徒たちも疲れたことかと思いますが、怪我する生徒もいなく、天候にも恵まれて、本当に有意義な三日間でした。



自分たちで、いかだを組み立てて乗り込み、いざ水上へ



プール活動では、チーム対抗の水球をやりました



夕食はバイキング方式で、好きな物を選んでワイワイと食べました



文星芸術大学附属中学校

＜入試説明会＞ 保護者対象

＜オープンキャンパス＞ 受験生対象

- 内 容
- ・学校の概要説明
 - ・模擬授業体験や施設見学
 - ・入試要項の説明
 - ・入試相談等

第 1 回 平成19年 9月15日(土)

第 2 回 平成19年10月20日(土)

※第2回は「雄飛祭」(学校祭)の見学になります。

連絡先 Tel 028-636-8000 / Fax 028-636-7111

文星芸術大学附属高等学校

＜一日体験学習＞ 開催

2007年 夏 文星と出会う!

- 内 容
- ・各学科やコースの説明
 - ・模擬授業体験や施設見学
 - ・部活動見学
 - ・入試相談等

1 日目 平成19年 8月18日(土)

2 日目 平成19年 8月19日(日)

※2日目は宇都宮・河内地区の中学生対象です。

連絡先 Tel 028-636-8585 / Fax 028-633-2321